

つくばSDGs
パートナーズ

会員交流会



主催: つくば市
受託運営: 株式会社Ridilover



第一部 パネル セッション

地域でSDGs活動をする意味
—なぜSDGs教育に取り組むのか

第二部 交流会

会員からの活動発表+交流

オンライン開催

2021

2.27 sat

10:00~13:00

参加費無料



【URL】

<https://forms.gle/cKs1fmZ6QzAv8nyi9>

つくばSDGs パートナーズは、経済・社会・環境が統合的に発展する「持続可能なまち」をつくばで実現するための仲間づくりの場です。（個人会員265名、団体会員63 / 2021年2月17日時点）

第一部 地域でSDGs活動をする意味 —なぜSDGs教育に取り組むのか

団体会員より、地域でSDGs活動やSDGs教育に取り組む想いについてお話いただきます。

<スピーカー>



筑波大学
アスレチックデパートメント
副アスレチックディレクター

山田 晋三

ATHLETIC DEPT.

「つくばこどもの青い羽根学習会」（子どもの学習支援・生活支援事業）に参加する子どもたちを対象に、トップレベルの学生アスリートによるスポーツ教室開催等を実施している。



東京ガス株式会社
つくば支店 広報課長
樽井 謙尚

2018年3月、つくば市・東京ガス(株)・東京ガスリビングライン(株)にてSDGsの視点を取り入れた包括連携協定を締結。持続可能なまちづくりを目指し、エコ・クッキング等の活動に取り組んでいる。



茗溪学園中学校高等学校
SDGs推進委員長
内窪 誠

学校教育にSDGsの観点も取り入れながら活動。2020年4月にSDGs推進チームを設置し、さらに活動を強化していく方針。



NPO法人自然生クラブ
代表
柳瀬 敬（つくば市教育委員）

知的障害者等の生きづらさを解消していくための共同体づくりに取り組む。活動の中で持続可能な生活様式の提案を続けている。その領域は福祉にとどまらず、環境運動や文化・芸術活動、教育までおよび。

第二部 会員の活動発表

団体会員・個人会員から、自身のSDGs活動について発表します。（10団体程度、事前募集）

発表者として参加したい方はこちら→
<https://forms.gle/BkciuTPwGiaEu7hHA>



会員交流会 詳細

- 日時：2021年2月27日（土）
 - 10:00～ 第一部 パネルセッション
 - 11:00～ 質疑応答
 - 11:30～ 第二部 会員の活動発表
 - 12:15～ 発表者への質疑応答&交流
 - 13:00 終了
- 場所：オンライン（ZOOM）
- 参加費：無料
- 定員：100名 先着順ですでお早めにお申し込みください。
- 申し込み締め切り：2021年2月26日（金）23:59迄

詳細・
問い合わせは
コチラから



株式会社Ridiloverとは

「社会課題を、みんなのものに。」をスローガンに、より多くの人々が社会課題に関わりたくなるツアーやメディアを運営。つくば市と「持続可能都市推進に関する連携協定」を締結し、2019年度よりSDGsTRYプログラム、会員交流会を受託運営している。

HP：<https://ridilover.jp/>

<https://www.tsukuba-sdgs.jp/page/page000179.html>